

Handsome

輝

36th

Handsome CONTENTS

巻頭記事 10月例会開催

県青中交流事業／委員長・副委員長交流会

特集 輝業紹介

輝賓室

株式会社エール・グランド 代表取締役
多賀 彰穂OB(第33期卒業生)

拝啓、会員様 ～北口会長のひとりごと～

◆ 発行人／鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 北口 智明 ◆ スローガン／輝 かがやき ◆ テーマ／その先へ～Leap ahead～
◆ 編集責任者／担当 副会長 岩田 剛 ◆ 制作・編集 第36期総務委員会／委員長 竹ノ内 賢一郎 ◆ 印刷所／東京印刷(株)

その先へ

Leap ahead

10月例会開催

企業経営の為に リスクヘッジ!!



平成22年10月13日(水)、ホテル サルトルト米子に於いて、役員担当による10月例会が開催された。

当会は組織のリーダーとして活躍するメンバーの集団であり、リーダーとしてリスク管理、組織のデザイン・運営にあたり非常に有益な講演会であった。「暴力団の人の弱みに付け込む巧妙な手段の具体例」や、「強いチーム(組織)作りがリーダーの重要な役割」など、具体的に提示していただき、早速取りかかるべき問題として対処する必要

第一部の講演では、暴力団の資金調達方法が覚せい剤・賭博・恐喝といった伝統的資金源から、不動産取引・金融取引等の経済活動に変遷しており、県等から許認可が必要な業種に至っては暴力団が現職の一般市民をスカウトすることがあるという事例が紹介され、反社会勢力が身近に存在するというリスクについての説明があった。

また県内の情勢として、山陰地方に拠点をおく暴力団が、全国的組織の幹部に就任したため、県下における暴力団の資金調達活動が活発化する危険性についても説明があった。最後に先生は暴力団の資金源を断つ必要性を訴えられ、講演を終えられた。渡辺副会長が、「わかりやすくなりました。資金源を断つこと、毅然とした態度をとることが重要と感じました。我々企業人も組織及び個人の危機管理が必要と認識しました。」と謝辞を述べ、第一部が終了した。

続いて、第二部の講演では、事例紹介を交え「組織と環境」「企業信用力と組織づくり」というテーマでご講演をいただいた。客観的にみて、鳥取県下においては倒産のうち、再生型のスキームが非常に少ないことから、鳥取県の経済主体は環境変化への対応が弱いのではないかという指摘があった。素早い環境変化に対応するためには、新しいことをするパワーが必要であり、そのためには変革を恐れない組織づくり、及び人材育成が必要であると話された。



次に企業信用力を高める組織作りについてお話があった。企業信用の評価基準は、担保重視主義からキャッシュフロー重視主義へ移行しており、優れたリーダーが必要である。そのためには①有言実行の組織、②ビジネスプランが遂行できる組織、③公明正大、真正直である組織、④最大の信用はヒトが生み出すこと、の4点のアドバイスをいただいた。森脇副会長から「我々企業人にとって人材とは企業経営において有益な情報をもたらしてくれる存在であると考えます。先生は我々とほぼ同年代であることから、耳元で有益な情報をこっそり伝えてくれる良い兄貴分としてこれからも良いお付き合い



性を感じさせる例会だった。

例会は二部構成で行われ、第一部は鳥取県警察本部刑事部組織犯罪対策課 暴力団排除対策担当警部補 安田一明先生、鳥取県米子警察署刑事第二課捜査第二係神田陽介先生をお招きし「暴力団情勢及び不当要求への対処」について、第二部は(株)帝国データバンク鳥取米子支店長 泉田優先生をお招きし「時代の波をいかに乗り切るか」についてご講演頂いた。



いができればありがたいと思います。」と謝辞が述べられ、第二部が終了した。

開会に当たり北口会長がスポーツの秋の折に触れられ、会長ご自身の大山登山とスポーツのお話を交え、会員へ365日、我々もしっかり頑張っていこうと激励の言葉を贈られた。

例会中、山口早苗新入会員へのバッジ授与が行われ、委員長タイムでは ビジネスメディア委員会 桑本委員長から委員長の属される建築業界の現状と問題解決について話があった。公共工事の減少で仕事が減る中、民間工事へシフトした経緯やそのために独自のノウハウを構築する必要があり、展示会に出席することによって得られたメリット等の話があった。

(記事:内田隆)

10月担当例会を経験して・・・

スポーツ振興委員会 委員長 向井 智之

10月例会は第一部で「暴力団情勢及び不当要求への対処について」というテーマで安田先生に、また第二部で「時代の波をいかに乗り切るか」というテーマで泉田先生にご講演頂きました。我々企業の経営に携わるものにとっては様々なリスクが考えられますが、今回の例会では、2つの角度からの、企業経営のためのリスクヘッジについての講演内容でしたが、是非、今後に役立てて頂きたいと思っております。

今回、例会の窓口をさせて頂きましたが、役員担当という事で、今後の例会のお手本となるような例会にしたいという思いもあり、準備の段階からプレッシャーを感じていましたが、役員の皆様のご協力により無事終わることが出来ました。ありがとうございました。



委員会訪問 ～おじゃまんぼう～

スポーツ振興委員会



平成22年10月3日(日)にガイナレ鳥取対アルテ高崎戦があった。この試合に勝利すれば、J2昇格要件である4位以内が確定する。その瞬間を味わうべく、スポーツ振興委員会でバスを借りてパードスタジアムへ行った。

他にも輝委員会や総務委員会からも参加しており、更にスタジアムに着いてから、前泊されておられた会長や健康委員会メンバーと合流。結局4委員会のメンバーがパードスタジアム



に集った。そんな我々の熱意もあってか、1-0で見事勝利し、4位以内が確定。

スポーツを通じて会員同士の親睦もはかることができ、とても楽しい1日となった。

今回はb Jリーグ鳥根スサノオマジックのボランティアと試合観戦。今後もスポーツ振興委員会から目が離せない！！

(記事:佐藤)

輝業紹介

『夢、まち、人づくり。』美保テクノス株式会社 山内英樹



美保テクノス株式会社は創業53年の総合建設会社です。

スローガンの『夢、まち、人づくり。』は当社の将来ビジョンを、親近感のある言葉で端的に表現しています。ロマンと希望に満ちた明日への夢を描き、もっと素晴らしく、もっと楽しく生活する為に美保テクノスは、どんな時代でも理想を追い求めます。そして、地域に貢献し、快適で暮らし易いまちづくりを目指して美保テクノスは歩み続けてゆきます。まちの中に、夢のある建物を創造し、人々の笑顔あふれるまちを実現してゆくのが私達です。

いつも心に夢を持ち、何事にも挫ける事なく、勇気を持って進む社員が今日もどこかで、まちを創っています。

ビル・店舗・住宅の新築・リフォームに太陽光発電・地盤改良・舗装等、これからも美保テクノス株式会社は、皆様のまちづくりをお手伝いさせていただきますので、今後も今迄と変わらないご支援をお願い致します。

「明るく・楽しく・やさしいターミナルビル」

米子空港ビル(株) 徳尾修一



当社は米子空港の旅客施設・貨物施設の運営の他、空港内での広告や旅行業等の事業も行っております。

昨年は滑走路2,500m延長にあわせ「明るく・楽しく・やさしいターミナルビル」をコンセプトに、旅客ターミナルビルの増改築工事を行い、大型航空機への対応も可能な施設となりました。

地元の方々の人気飲食店・土産物店を揃えるとともに、館内随所で地元の伝統・文化の発信など、「山陰のショーケース」と呼ぶに相応しい空港に生まれ変わりました。

今年「米子鬼太郎空港」という愛称も決まり、鬼太郎オブジェをはじめ楽しい妖怪たちが皆様を出迎えてくれています。

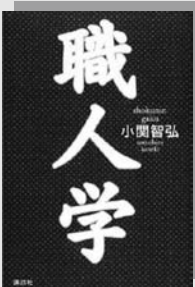
空港は「飛行機に乗る人のための場所」というイメージをお持ちの方が多くと思いますが、どうぞお気軽に米子鬼太郎空港へ遊びに来て下さい。

鬼太郎と徳尾が皆様をお待ちしております。



おすすめビジネス文庫紹介

紹介者:須山 裕文 会員



『職人学』

小関智弘 著

学生の時から本というものに軽いアレルギーを示していたので、皆さんに何を紹介すればよいのか迷いました。私が読んだ数少ない本の中から小関智弘氏の著書、「職人学」を紹介します。この本に書かれている職人の世界は、我々のような食品業界とは異なりますが、職人としての心得、仕事に対する取り組み方について共通する点が多々あります。経験に裏付けられた確かな技術は、まさに日本が世界に誇るものであり、これこそが日本の経済を支えてきたと言っても過言ではないと思います。

また、本の中に書かれているコンピューターでは解析できない「感ピューター」の世界は、日頃の努力と鍛錬の賜物であり、これこそ私の理想とするところです。中央会の職人の皆さん、是非ご一読を！



ガイナレ鳥取企画

ガイナレ鳥取は、Jリーグ昇格基準のうち、順位はもとより観客動員数もクリアした。また、先日のJリーグ現地ヒアリングでも「大きな問題はない」との見方が関係者に示された。ただ、心配されるのは財務面である。民間企業から5千万円の増資が確定し、債務超過をほぼ解消する見通しである。しかし、クラブは来季のJリーグ入会金2千万円をはじめとする初年度に必要な莫大な運営費用を確実に集める必要がある。鳥取県及び鳥取市は、各2千万円の出資を決める見込みであるが、米子市は2千万円の要請に対し半額の1千万円を検討するにとどまっている。また、倉吉市、境港市はいまだ確実な動きがみられず、Jリーグ参入に向けての課題が残る。(記事:土岐哲己)

輝寶空

(株)エル・グランド 代表取締役
多賀彰穂 O B (第33期卒会)



今月は、保険の総合取り扱いをされている、株式会社エル・グランド代表取締役 多賀彰穂氏(第33期御卒会)より、仕事と仕事を通しての人生観についてお話を伺いました。「人生は与えられたものであり、その人生の中で人に必要とされる仕事がしたい。」

「公的な社会福祉が不透明になるにつれ、個人の保険の重要性が高くなっている中、自分や家族のため保険を正しく理解して、大切なお金を有意義に使って

ただきたいと思う。」「また、正しく保険を理解してもらおう場が少ないのも現状で、ショップ式で誰でも気軽に保険の説明が受けられるという、手を広げた状態を作ること、皆様に保険を真剣に考えてもらえる環境を提供したい。」と話された。保険業とは、本来営業訪問され説明を受けるという顧客が受動的という一般的な概念から、ショップ式で顧客を迎えるという発想は業者主導より顧客主導で顧客ペースに合わせて説明ができると感じられ、訪問する顧客も自分のペースで安心して保険が選べると思いました。

また、最近仕事を通して感じられていることで「親は、子供に地元に戻ってきてごせよ。」と言わなければならない。「大学・短大などの進学で県外に出ていくことはあるが、帰ってきたら一緒に楽しい商売しようや。」と率先して親が言わなければ地元で人が居なくなるし、地域情勢はますます悪化していく。「地元も各世代が協力していけばきっとおもしろいことができるはず。」と地元に対する熱い気持ちを語られた。(記事:中村友)

県青中事業 ~委員長・副委員長交流会~

10月23日(土)鳥取県中小企業青年中央会各地区の委員長・副委員長が一同に集結して委員長・副委員長交流会が開催された。



各地区委員長・副委員長とも3グループずつに分かれてテーマに沿って意見を交わした。委員長グループは「魅力ある例会作り」をテーマに各地区での取り組みや現状等を意見交換しながら、例会の活性化を協議してポスター発表した。副委員長グループでは、「委員会をどのように盛り上げるか?」をテーマに意見交換を行った。

第36期がスタートして4カ月が経過。各委員長・副委員長ともそれぞれ壁にぶつかりながら、懸命に模索されている姿が見られていた。会の冒頭、西根県会長が「今回の交流事業は「英知」「友愛」「団結」の詰まったものにして欲しい」と述べられたように、机上での「英知」「友愛」「団結」が垣間見れた委員長・副委員長交流会であった。



その後の懇親会では更に懇親を深め、長い夜を共に過ごしていった。(記事:竹ノ内)

フットサルという名の肉弾戦

10月24日(日)倉吉市営体育センターにて、鳥取県中小企業青年中央会の交流事業としてフットサルが行われた。



西根県会長の挨拶に引き続き、「ルールはありません」という驚きの一言でルール説明が終了(笑)。かくして始まり

たルール無しフットサルは、まず西部チームと東部チームが勝利。

続いての3位決定戦では、後半混成チームの西部O副会長がファインセーブ連発も、前半の3バックならぬNOバックディフェンスによる失点が響き、中部チームの勝利。



ハーフタイム後、西部はメンバーを入れ替え親睦モードに。それに対しベストメン

西部VS東部の決勝では、前半は拮抗した戦い。ちあがー?まで登場した

バーのままの東部チームが容赦ない猛攻。西部のラガーマン、M会員すら吹っ飛ばされる激しい攻撃の前に奮闘虚しく西部チームは敗れたのでした。激しい面はあったものの、笑い声のあふれた、まさに「交流事業」でありました。(にしても、負けた気が全くないのは何でだ?) (記事:竹谷)



知って得するビジネス用語

HACCP(はさっぷ/はせっぷ)

(株)さんれいフーズ 西村 義史 会員

「宇宙食の安全性を確保するためにNASAで開発された衛生管理方法です。」こう聞くと凄く安心できる気がしませんか?

従来、食品の安全確認は主に最終製品の抜き取り検査により行われてきました。しかし、抜き取り検査だけでは検査した

製品が、たまたま良かったという可能性もあります。これに対してHACCPは、「原料入荷→製造→出荷」までの全工程において予測される危害(HA)を分析し、重要管理点(CCP)を定め不良製品の出荷を防ぐシステムで、管理が必要となるのは、きっちり管理しようというものです。当初は乳製品や食肉加工品等が主でしたが、現在は様々な食品に普及しています。「HACCP認定工場で製造された」というのが、今後我々が商品を選ぶ際の基準になっていくかもしれません。

拝啓、会員様～北口会長のひとりごと～



今期も早いもので三分の一が過ぎようとしています。
各委員会ではテーマに沿って方向性が固まり、さあ今から本格的に動きだそうと言いたい所ですが、もし足踏み状態であれば原因を探ってみましょう。例えば委員長や少数のメンバーで会議を進めているケースがよく見受けられます。そして他のメンバーが間に入り意見を述べようとすると更に自分の意見を通そうと話しが止まらなくなる。時間だけが過ぎてしまい結論の出ないまま会議が終わってしまう。問題なのは、自分の意見を通そうとする独演会だけではありません。委員会事業を成功させることを前提に、常に出席者全員で議論に加わり自分の意見を堂々と述べ、事業を成功させる気持ちを持ち続ける事が、大事だと思います。後は進める側が事前に会議のポイントをよく整理し、スムーズな流れに仕向ける準備と手法だと思います。

「いかせてほしい!!」

そろそろ紅葉が待ちどしい季節になりました。
10月は中央会行事が多くありましたが、36期も4ヶ月が過ぎています。先日、例会2次会移動のバスの中で、「輝委員会は例会、委員会の出席率100%が続いていて、プレッシャーがかかるわ」という話になりました。(会員の会に対する出席意識はこうあるべきと思います!!)
輝委員会配属の新入会員の皆さん、会員の皆さん、会の行事に数多く出て、会員の方々と顔を会わせて色々話をする機会を多く作りましょう。会社の業務が忙しい中、会に参加する時間も貴重な時間です。有効に使って仕事、プライベートの情報や知識を様々な業種、幅広い年代の会員の皆様から得て下さい。これも自己研鑽の一つではないでしょうか。
(監事:景山周司)

新入会員

	山口 早苗	A型
	三井生命保険株式会社 営業主任	
	〒683-0052 米子市博労町4-358-6	
	TEL 34-2518 FAX 23-0484	
	(KT) 090-3638-3383	
	(EM) den-mama@ms4.megaegg.ne.jp	
	松田(幸)	S49.5.10生

(コメント)
三井生命保険(株)で営業主任をしております。
これからマネジメントをする立場になるにあたり、西部青年中央会での活動が必ず私の力になると思っています。諸先輩方から1つでも多くのことを学びたいと思いますので、よろしくお願致します。

11月例会へむけて



今期、中央会のメディア系広報活動を担当する委員会として、今月はガラズFMで有名なガラズコミュニティ放送の富田代表を講師にお招きします。第1部「コミュニティFMを使った地域活性化」。第2部「コミュニティFMから始まるビジネスチャンス」と題し、敷居が高く感じる電波放送を身近なものとして、CMの製作風景の上映と番組収録を盛り込みながらディスカッション形式で行います。エネルギーたっぷりの富田社長から会社設立や運営に関する体験談を聞くだけでも、役立つものが多々あるかと思えます。是非、例会にご出席をお願いします。
(ビジネスメディア委員会 委員長 桑本功一)

10月度委員会報告

健康委員会

平成22年10月2日(土)於:潮風の丘 とまり 出席者/9名
議題/・役員会報告
・委員会活動(グランドゴルフ体験)の反省
・12月例会について

スポーツ振興委員会

平成22年10月6日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名
議題/・役員会報告 ・10月担当例会打ち合わせ
・スサノオマジック副代表を招いての意見交換会

政治行政委員会

平成22年10月5日(火)於:米子コンベンションセンター 出席者/12名
議題/・役員会報告 ・各班毎の活動報告
・今後の活動に関してメンバーからの意見発表

ビジネスメディア委員会

平成22年10月5日(火)於:カフェD-Joy's 出席者/14名
議題/・役員会報告 ・班別活動報告と打ち合わせ
・中央会CM、例会内番組内容打ち合わせ
・11月例会打ち合わせ

輝委員会

平成22年10月4日(月)於:ふれあいの里 出席者/20名
議題/・役員会報告
・中央会に関して先輩会員(福庭会員)より新入会員向けの説話
・10月OB交流会打ち合わせ

総務委員会

平成22年10月5日(火)於:レストランぶどうの木 出席者/13名
議題/・役員会報告 ・ハンサム発行について
・新日本海新聞社 澤田圭太郎記者を講師に招いての文章と写真の講習会

11月役員会報告

11月役員会が平成22年11月1日(月)、米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・10月例会報告の件
- ・11月例会開催の件
- ・1月新年例会開催の件
- ・その他
- ・県青中事業報告の件
- ・12月例会開催の件

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

編集後記

スポーツの秋到来!フットサル大会も無事に成功しました。久しぶりに本気になりました。

中央会には野球、バスケ、サッカーなど、スポーツが盛り上がっていますね。皆さんも積極的に参加・応援を楽しんでみてはいかがですか?

サッカー同好会復活の噂もあるような、ないような・・・

(野口)

11月例会のご案内

と き:平成22年11月15日(月)19:00~
と ころ:ホテルサンルート米子2F 芙蓉の間
内 容:第1部「地域に根付いた

コミュニティFMを通じた地域の活性化」
講師:株DARAZコミュニティ放送 代表 富田 寛氏
第2部:ディスカッション テーマ
「コミュニティFMから始まるビジネスチャンス」